

潟上市・大豊小 つくだ煮など給食に 地元の食材「おいしい！」



潟上市昭和大久保の大豊小学校
(200人、三戸智佳校長)で29日、
地場産食材を使った給食が提供され
た。地元のつくだ煮製造・佐藤食品
(佐藤賢一社長)が寄付したもので、
児童らはワカサギのつくだ煮や
きりたんぼ鍋を頬張った。

物価高騰が給食にも影響していると耳にした佐藤社長(39)が「子どもたちに地元のおいしいものをおなかいっぱい食べてほしい」と考え、自社製のつくだ煮などを提供した。八郎湖で今月水揚げしたワカサギを加工した新物で、佐々木陽希君(6年)は「本当においしくて笑顔になる」と箸を進めていた。

佐藤社長は「たくさん食べて勉強やスポーツを頑張ってもらいたい」と話した。

きりたんぼ鍋の費用には、手数料の一部を持続可能な開発目標(SDGs)に取り組む活動に寄付する秋田銀行の「SDGs応援私募債」を活用した。

(三浦正基)

(令和5年11月30日(木)秋田魁新聞より一部抜粋)